

幸南の風



令和4年7月13日 校長 伊藤 公一 第7号

夏休みまであと少し

仙台管区気象台は6月29日、東北南部が梅雨明けしたと発表しました。平年より25日、これまで最も早かった7月5日（1978年）より6日、それぞれ早くなったそうです。東北地方で6月中に梅雨が明けたのは観測史上初めて。期間中の雨量も記録的な少なさだったようです。35℃を超えると猛暑日と言いますが、全国では40℃を超える地域も、40℃を超えると何というのでしょうか。

290円が300円に

コロナ渦における物価の高騰が給食食材にも影響し、予算内で献立を立てることが非常に厳しいものになっていると聞きます。そこで、保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った給食を提供するために「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、物価上昇分について食材予算への補填を7月から行うことになりました。つまり290円+10円で300円が1食の値段になり、10円を補助するというものです。有り難いことですが、コロナの補助金が当てはまるのでしょうか？

教育実習

4週間の教育実習が行われました。東北学院大学と國學院大学の学生さんです。國學院大学の実習生さんは本校の卒業生です。配属教室での実践授業を複数回行い、研究授業を行いました。最後には1日担任も経験しました。学校では、年に2回ほど、教育実習生を受け入れています。学級担任が指導教諭になり、その学生を指導し、学校全体で関わります。将来の教師になる人材育成をする義務が学校にはあるからです。指導教諭は、この実習期間、担任としての仕事をしながら、請け負うわけですので、大変な負担になります。しかし、学生さんの将来のことを考え、真摯に教育実習生に向き合い、

時には悩みや不安なども聞き入れています。そして、子どもたちも教育実習生が、大好きです。なぜなら一緒に遊んでくれるからです。本当に、4週間長かったのか、短かったのか、大変お疲れ様でした。2人ともいい先生になれると思います。そして、教師になって未来の子どもたちを育ててください。

エプロン先生感謝の会



7月12日、エプロン先生への感謝の会が行われました。1年生のお手伝いをしてくれた方々への「ありがとう」の感謝の気持ちを表す会でした。4月学校スタートから6月まで、朝の活動や給食の手伝い、プール学習での着替え、監視など、本当にお世話になりました。9月の校外学習（動物園）の引率もよろしく願います。